

## 青江覚峰師講演

### ①大きく羽ばたく僧侶たち

#### ●導入

活版印刷の例を挙げ（活版印刷が最初に利用されたのは聖書）、最新のテクノロジーを使うことが宗教と相容れないものではないことを説明。

仏教の広報について  
何をやってもおもしろく見える  
何をやってもニュースに取り上げられる  
とりあえず人の注目をあびる  
けれども  
一度でも失敗すると大炎上  
お寺にも迷惑をかける  
檀家さんにも迷惑をかける  
仏教全体から叱責を受ける



決して炎上させてはいけないので、言葉など細心の注意を払う。

#### ●活動の紹介

大切なことは「ごもつとも」なストーリーを作ること。  
例として下記を紹介

##### i 光明寺オープンテラス（港区虎ノ門）

平日テラスを開放、僧侶による茶菓子のおもてなし、お昼の一休みヨーガ、僧侶による傾聴などを実施  
茶菓を出すのはもともとお寺でやっていたことでそれを現代風にアレンジ。青江師も立ち上げに参加したが、その後仏教青年会に移行、そこから青年たちが寺の行事に参加するなどつながりが広がっている。

##### ii BBA（ポーズビーアンビシャス）

上田紀行氏「がんばれ仏教」に掲載されていた活動。実際には説明省略

##### iii 彼岸寺（インターネット寺院）

彼岸寺のサイトを見た人の数はわかっても顔はわからない

↓  
光明寺にて「誰そ彼れ（たそかれ）」という音楽イベントを実施  
音楽の合間に読経やワークショップ実施

↓  
実際のお会い、顔が見える

↓  
神谷町オープンテラス＝いつでもお坊さんに会える  
（i はこうしてできた）

そこ（i）から

##### iv 松本 紹圭

一般社団法人 お寺の未来 を立ち上げ、「未来の住職塾」を開講  
寺や伽藍を維持するためには仏教の教えだけでは足りない。その足りない部分を教える。

## v 池口龍法

フリーマガジン「フリースタイルな僧侶たち」を発刊

十夜フェスを実施

五人組浄土系アイドルグループ「てら＊ぱるむす」による音楽イベント

音楽の合間に念仏

由来

てら=寺 単位の『TERA』=1兆

手のひらを意味する『Palm』の複数形 『Palms』=合掌

公式サイトにはこんな事が書かれています。

ここには仏教的な願いが込められています。

地球上には70億以上の人々が住んでいます。

動物や植物まで含めると、生命体の数は、てら（兆）という単位でも数えきれません。

限りある環境のなかで無数の命が暮らしていくためには、争い合うことをやめて、お互いの手を取り合うしかありません。

そのような理想的な世界を実現していくために、まずはお寺で自らの手と手を合わせて合掌してみませんか。

## vi その他

僧職男子に癒されナイト

茶坊えにし

寺子屋ブッダ

向源

仏教井戸端トーク

親しみ

↓

↓

↓

研鑽

## ②暗闇ご飯

現代人は忙しすぎるので、目の前のことだけに集中するために考案した。アイマスクをすると不安なので、食べることに集中できる。

テーブルにはおしぼり・箸・透明な液体・茄子の揚げ浸しの皿が置いてある。

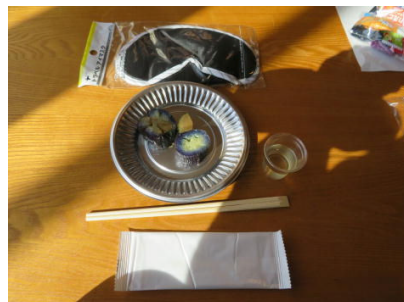
まず向かいあった人とじゃんけんをする（相手の右手を自分の左手で触りどちらが勝ちか判断する）次に簡単な自己紹介。

小さなコップに入った透明な液体は何でしょう？

3種の茄子の揚げ浸しの味の違いがわかりますか？

トマトのスープ→トマトを湯むきし一昼夜さらして漉す→無色透明

10年間の経験から、アイマスクをしていると98%がトマトと認識するが見えたと66%の人しかわからない。トマトは赤いという先入観がいかに感性を消し去っているか。



日常こういうことは多々あるのではないか？  
茄子の揚げ浸しは、精進だし・鰹だし・なすのへたをごま味噌やラー油で  
味付けしたものの3種類  
ちょっとした違いを感じ取れるか？  
茄子のへたは食べられないという先入観があるが、これを通じて「どんな  
ものにでもていねいに向き合うことにより気づけなかったことに気づく」

### ③喫茶喫パン

禅語の一つに喫茶喫飯（きっさきっぱん）という言葉があります。これはお茶を飲んでいるときには、目の前のお茶を飲むことに集中し、ご飯を食べるときには、目の前のご飯を食べることに集中しましょうという意味です。

「いただきます」は何に対して言う言葉か？  
自然・いのち・労働・知恵・周りの人

目を閉じてゆっくりとパンを食べます

〈1〉まずこのパンがどこから来たのかを想像します。パンは小麦粉からできていますが、それまでには自然の働きや労働がどう関わってきたのだろうか？小麦は工場に運ばれ小麦粉になるが、どんなトラックでどんな運転手さんが運び、どんな人が工場で働いているのか？そこにはどんなドラマがあったのだろうか？これだけのパンを食べるのにどれだけのものに関わっているのだろうか？想像しながら食べて下さい。

〈2〉次に自分がこのパンを食べるに値うのかを想像します。今日一日起きてから今までどんなことをしてきたのだろうか？自分は他の命を奪って自分の命をつなぐ、それに値するかどうか自分に問うてみて、十分でないなら何をすればいいのか？自分に問いかけて下さい。

〈3〉他のものが食べたかった、もっと食べたいという欲があるかどうか確かめます。三毒のひとつむさぼりについて考えてみます。食べる時に「もっとおいしいパンを」「もっとたくさん食べたい」などと考えませんでしたか？「もっともっと」という言葉にふりまわされていないだろうか？

〈4〉食べることは体を作ることだと実感しながら食べます。パンが口の中で小さくなっていく様子を想像して下さい。唾液と混ざり食道を通り胃から腸へ、そして血肉となります。

〈5〉仏道を歩むために食事をいただきます。仏道を歩むとはどういうことだろう？考えて下さい。

それぞれが五観文の説明になっていますね。20分かけて一切れのパンを5口で食べたのですが、このようにていねいな説明がありました。

寺と食事を組み合わせて、寺ならではの体験をとの思いから考えついた企画だそうです。ちなみに青江師は食事五観文のことを曹洞宗の和尚さんから聞いてこれを考案したそうです。寺庭の私たちでもこの手法は何かの機会に使えるような気がしませんか？

## 僧堂用語を覚えよう

### 導入

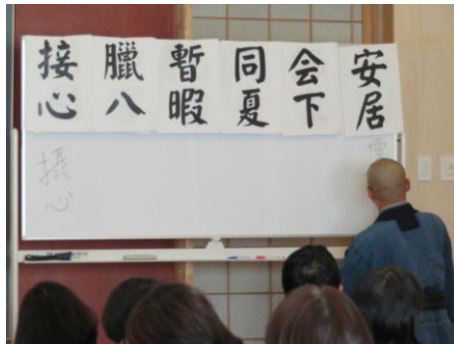
「荷担（加担）」はどちらかというと「悪事に荷担する」という風に使いませんか？でも和尚様宛の文書の中に「\*\*にご荷担下さい」という文を見たことはありませんか？お寺で使う言葉は通常と意味が違うこともあるのですね。

### 主な用語について

「読めますか？」

ふうす・しか・いんじ・てんぞ・しけ

それぞれについて雲水さんが説明して下さいます。



掛搭する時の装束で「庭詰」の様子を再現していただきました。  
(掛搭の「搭」は「塔」ではありません)



御主人や息子さんが修行に入った時のことを思い出して、涙が出ましたという人も・・・

貼ってある文字の字体が違うのは役員が分担して作ったからです。個性尊重、各自任せにしました。



最後に無底窟老大師様が補足をして下さいました。老師様がおいでになることは案内に記載してなかったので「感動した」という感想が多数寄せられました。「僧堂用語集」の作成も含め、寺庭婦人会活動に対する老師様のご指導ご協力には、心から感謝しております。

和尚さんたちの会話の中で「どうげ」という言葉がよく出てきます。これが「同夏」だったとは・・・